

第128回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和元年6月21日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第128回船員部会

日 時 令和元年6月21日(金) 13:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理

豊田委員、森委員(欠席)

労働者委員 : 熊谷委員、高橋(雅)委員、津田委員(欠席)

使用者委員 : 勝倉委員、白幡委員、平岡委員

運輸局 : 畠山海事振興部長、丹藤海事振興部次長

佐藤船員労働環境・海技資格課長

柳田船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

(資料)

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(4月分)
- 資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料4 新規求人・求職数(全国)
- 資料5 有効求人・求職数(全国)
- 資料6 有効求人倍率(東北管内)
- 資料7 有効求人倍率(全国)
- 資料8 「めざせ!海技者セミナーin仙台」開催プレスリリース
- 資料9 2018年度 水産高校等新規学卒者船員就職状況調査
- 資料10 新聞情報

(参考資料) 中央船員部会資料 船員教育機関卒業生の求人・就職状況等について

◎開 会

【丹藤海事振興部次長】

〔第128回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真）部会長】

それでは、議事に入ります。

議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料1から資料7に基づき報告〕

(2) その他

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

なければ、ご了承いただいたものとし、続きまして、「議題2その他」に入ります。

初めに資料8と9について、事務局から説明をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料8から資料9に基づき説明〕

【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

今の資料8、9について、ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

【高橋（雅）労働者委員】

資料9ですが、宮古水産のところで船員就職者数は漁船が2人となっていますが、船員就職先の方では、漁船は管外で5人となっています。矛盾していませんか。

【増田部会長代理】

就職した人の数は8人で合っているので、数字の入る場所がどこか間違っています。

【柳田船員労政課長】

振り分けが間違っていますので、再確認して訂正させていただきます。

【高橋（真） 部会長】

宮城水産で女子1名が漁船に就職していますが、年度当初では、女子で漁船の希望はゼロだったので、そうすると商船を希望していた子が漁船に行ったということですか。

【柳田船員労政課長】

そう思います。この女子1名は機関部、機関工学類型で学んだ女子生徒なので、同じ機関場の就職ということで、最終的に商船から漁船に移ったと思います。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。
そのほかありませんか。

【熊谷労働者委員】

商船を希望している女性ですが、やはりフェリーや旅客船がほとんどですか。

【柳田船員労政課長】

そう思います。

【高橋（真） 部会長】

そのほかありますか。
なければ、次に委員の皆様から情報提供をお願いします。
最初に労働者委員からお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

6月7日に、東北地区における船員教育機関と海運・水産会社関係者等との懇談会を参加者53名で開催しました。

その中で、中央の（一般社団法人）全国漁業就業者確保育成センターが、3年前から各水産高校を回り、漁船を希望する生徒さんたちに集ってもらい、ブースを幾つかに分け漁業者の会社の方々が説明する漁業ガイダンスというのを行っていて、そのガイダンスに参加した生徒さんたちのアンケートの内容が報告され、漁船についてのイメージとしては賃金が高いというものでした。また、一番生徒さんたちが不安に思っているのは、人間関係というのが断トツでした。1年生のときは漁業に興味を示すのに、だんだん学年が上がるにつれ、漁船に対する希望が減ってくるという調査内容でした。

そのような結果を踏まえて、では、何が改善できるのか、その部分を今後、改善すれば、生徒さんたちが漁船に入ってくるのではないかとということで終わって

います。

【高橋（真） 部会長】

わかりました。では、熊谷さん。

【熊谷労働者委員】

来月ですが、7月2日火曜日から4日木曜日までの3日間、第103次海洋F O C・POCキャンペーンということで、東北管内では、仙台港と石巻港等を中心にF O Cキャンペーンを行う計画となっており、参加する予定でいます。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、使用者委員お願いします。

【勝倉使用者委員】

新聞情報にもあり、前回の部会でもお話しした、当社の新造船、127勝栄丸が完成し、一般の方々にお披露目を行いました。その後、毎年やっていますが、市内の小学生を漁船に招いて、マグロ船の見学をしてもらい、あわせて、以前つくった1時間もののDVDを、小学5年生の社会科の授業で活用していて、丸1日、遠洋マグロ漁船の勉強をしています。

こういう取り組みを今後も、継続してやっていくことで、もっと船を目指す子供たちがふえてくれればいいと思います。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、平岡委員、お願いします。

【平岡使用者委員】

内航船員の魅力をPRするために、6月25日、岩手県立宮古水産高等学校で進路ガイダンス及び懇談会を開催します。

また、翌26日には、国立宮古海上技術短期大学校で講演会を開催します。海運事業者が13社と運輸局からは3名、そして、内航海運総連合会から2名と内航海運から1名ということで、合わせて全部で19名で開催します。

今回は、海運事業者が13社も参加し、少しびっくりしていますが、やはり今は、船員不足なので、宮古水産などから一人でも多く内航船員にきてほしいという思いからだと思います。よろしく願いいたします。

【高橋（真） 部会長】

そのほかございますか。

なければ、本日の議事は終了といたします。

次回の船員部会は7月26日金曜日の13時30分から、会場は、ここ4階会議室で開催いたします。

◎閉 会